

事例の区分

事業区分	河川整備事業
配慮概要	生物生息空間の創出

事業の概要

事業名	安原川都市基幹河川改修事業
実施場所	金沢市みどり2丁目～中屋町地内
事業主体	石川県（担当課：河川課）
実施期間	平成14年10月～平成16年3月
全体事業費	約420,000千円
事業規模等	護岸整備区間：600 m
事業概要	二級河川安原川（金沢市みどり2丁目～中屋町地内）の河川改修において、河川の生態系を保全・復元すると共に、都市河川における憩いの場の創出を図るため、多自然型整備を実施した。

環境配慮の内容

- ・河川整備後の暫定断面（寄洲）を利用し、現地発生土による低水路の整備を行い、川らしい姿の復元を図った。
- ・低水路の整備位置は、改修前の位置をできるだけ再現し、川本来の洗掘、堆積作用による再現効果を期待した。
- ・護岸は、自然環境の復元を図るため、ブロック間から植生が期待できる環境保全型ブロックを採用した。
- ・背後地にある公園と、計画段階から整合を図り、自然環境と触れあえる親水護岸を整備した。

環境配慮の結果

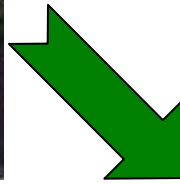
- ・低水路は、整備時は不自然さが目立ったが、数年経過すると、川自身の作用により、自然な低水路やミニワンドが創出された。
- ・生態系についても、魚類については、整備前後での魚種の減少は見られなかった。また、カルガモがミニワンド等で休息する姿も見られ、著しい環境の変動は見られなかった。

今後の留意事項等

- ・今回の整備においては、横断的な変化（低水路、ミニワンド等）に留意したが、縦断的な配慮（瀬、よどみ等）も必要だと思われる。



整備前
(平成12年12月)



整備直後
(平成16年 3月)



現在
(平成16年 9月)



親水護岸の整備



カルガモの休息